

科目名	高齢者の健康	担当講師	廣田幸子・東泉貴子
授業形態・単位数	講義 30 時間・2 単位	開講学年	1 学年
評価基準	筆記試験 (90%) ・ レポート (10%)		
目標	<p>1. 高齢者の健康を高齢期に特徴的なからだの変化をはじめ、疾病や障害、及び家族や社会的環境との関係から総合的に考えることができる。</p> <p>2. 高齢者の健康を維持・増進するために、有効な支援の内容や方法、保健医療職との協働活動のあり方について理解できる。</p>		
回	講義内容	方法	
1	老化に伴うからだの変化と日常生活への影響①	講義	
2	・外見上の変化、免疫・感覚・咀嚼・消化機能の変化と日常生活		
3	老化に伴うからだの変化と日常生活への影響②	講義	
4	・循環器、呼吸器、筋、骨、関節、泌尿器・生殖、体温維持機能の変化と日常生活		
5	老化に伴うからだの変化と日常生活への影響③	演習	
6	・高齢者の日常生活の動作体験		
7	高齢者の病態の特徴と高齢者に多い自覚症状・訴え①	講義	
8	・生活習慣病、骨・関節系、歯・口腔、目・耳・皮膚、呼吸器の病気		
9	高齢者の病態の特徴と高齢者に多い自覚症状・訴え②	講義	
10	・腎・泌尿器、消化器、循環器系、脳・神経系の病気 介護保険の特定疾患、感染症		
11	高齢者の病態の特徴と高齢者に多い自覚症状・訴え③	講義	
12	・痛み・めまい・体重減少・しびれ・浮腫・咳・息切れ かゆみ・不眠・便秘・下痢・誤嚥・出血		
13	病気、障害や自覚症状、訴えなどを有する高齢者への対応	演習 講義	
14	高齢者と家族を支える保健医療職との連携		
15	テスト、総まとめ	テスト・講義	
テキスト・参考書	新・介護福祉士養成講座 11 発達と老化の理解		